

まなび サポーター 募集



～放課後の教育機会格差をなくす～

私たちと一緒に、 放課後のまなび場を立ち上げませんか？

日本では、6.3人に1人もの子どもが経済的に厳しい生活を強いられています。

学校外の教育は、自分の能力を伸ばしたり、人とのつながりから成長する機会。いまや子どもにとって欠かせない場であるにも関わらず、お金の問題によって、学校外の教育機会が制限されている子どもが増えています。学習の場をとおした子どもとの関係づくりによって、この問題と一緒に取り組んでみませんか。

POINT

1

子どもへのコーチングが中心。

eラーニングで子どもたちが自律的に学ぶので、勉強を教えられなくても安心です。

POINT

2

あなたのペースで。

活動の曜日や時間は、あなた自身の都合や希望に応じて、ある程度自由に設定できます。

POINT

3

充実したバックアップ体制。

活動に必要なパソコンやマニュアルを提供。個別のアドバイスなど、継続的にサポートもします。

POINT

4

サポーター同士のつながり。

定期的な研修会などの場を通して、他のサポーターとお互いを高め合うようなつながりが生まれます。

活動の概要

内容

私たちのパートナーとして、経済的に余裕のない子どもたちが学ぶ「放課後の教室」をつくり出してくださる方を募集しています。

学習自体はeラーニング（インターネット上の教材）を使って、子どもが主体的に取り組むカタチ。

あなたの役割は、子どもに勉強を教えるよりも、コミュニケーションを通して目標を一緒に考えたり、できたことを認めてあげることが中心になりますので、教えることに不安がある方でもご安心ください。

また、あなた自身が中心の「放課後の教室づくり」を、私たちがさまざまな仕組みでサポートするという関係です。やり方もあなたの工夫を反映できるので、やりがいを感じやすいところが魅力です。

場所

近隣の集会所、市民センター、生協の集会所など。
（個別に調整します）

時間

週1回～2回程度、1回2時間程度。
（ご都合に合わせて決められます）

その他

参加家庭からの低料金の会費によって、運営に必要な実費を賄っていただく仕組みなので、持ち出しにはなりません。

問合せ先

NPO法人アスイク（担当：和田）

TEL・FAX/ 022-781-5576

Mail/ info@asuiku.org 携帯/070-5621-8523

こんな方をお待ちしています！

- 大変な状況にある子どもたちが成長するキッカケをつくりたい。
- 幅広い人とのつながりをつくりたい。
- 人の話を聞いたり、ほめるのが好き。
- パソコンでインターネットやeメールを普段から使っている。
- ※ 大学生、主婦、シニアなど、さまざまな年代の方が活躍しています。
- ※ 複数のメンバーでの活動も、歓迎しています。

先輩サポーターの声



並木謙之介さん（60）

私はIT関係の会社に勤めていて、定年後にまなびサポーターになりました。定年後の長い人生を、どう充実させるか悩んでいたんです。勉強を教えることは苦手ですが、この仕組みはパソコン教材で子どもが学び、子どもとのコミュニケーションが

中心なので、すぐ慣れることができました。子どもが笑顔で話しかけてくれるようになって、自分を信頼して、必要としてくれるようになる、自分も嬉しくなりますね。

詳細は裏面をご覧ください

※応募期限：2013年5月末日まで

活動のイメージ



【17:30】
教室となる場所で、子どもたちが使うパソコンの準備。早めに来て手伝ってくれる子も。

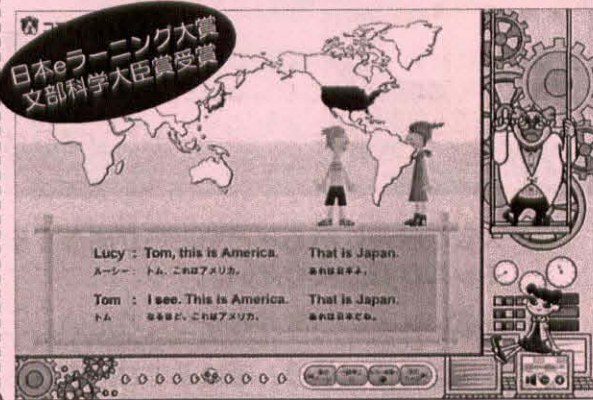


【18:00】
そろそろ集まってきた子どもたちを出迎え。ちょっとした声かけから関係づくりが始まります。



【18:30】
子どもたちがパソコンとeラーニングにむかって、学習中。たまに見回って、前向きな声掛け。

eラーニングシステム「すらら」の概要

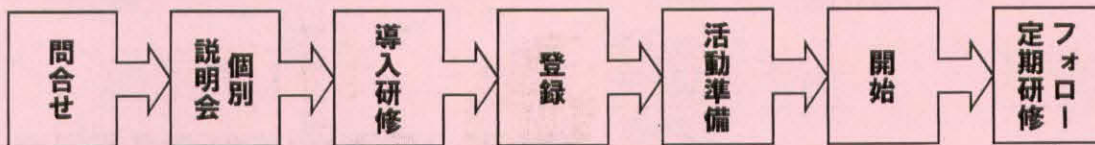


- 教科書の内容に沿って、アニメのキャラクターがイチから丁寧に教えてくれる教材です。
- 勉強が苦手な子どもでも、飽きずに、楽しく、まなぶことができます。
- 「すらら」は、全国で20,000人以上が使っているサービスです。



Point!
【19:00】
面談タイム。子どもの声に耳を傾けながら、いつまで何をやるか、目標を一緒に考えます。

開始までの流れ



※ 説明会は1時間程度です。この活動について、詳しいご説明を個別にさせていただきます。

※ 導入研修は、3時間程度です。実際の活動に必要な内容を学び、不安を解消します。

団体の紹介



NPO法人
アスイク

2012年度キッズデザイン賞
2部門同時受賞

- NPO法人アスイクは、東日本大震災の直後から、避難所や仮設住宅で生活する子どもたちに、「まなび」と「つながり」を生み出す活動を続けてきました。
- 被災の有無に関係なく、経済的な問題によって放課後の教育機会に格差がうまれない社会を築くために、たくさんの方々と一緒に「放課後のまなび場」を立ち上げる活動を行なっています。

当団体の活動が
仙台市政だよりで
紹介されました



NPO法人アスイク
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-3-21 コーポ小松101
Tel・Fax/ 022-781-5576 Mail/ info@asuiku.org

詳細は **NPO法人アスイク** [検索](#)

協力：宮城県 新しい公共支援事業、泉区社会福祉協議会